

2018 年度（公社）日本雪氷学会 北信越支部大会

主催：日本雪氷学会北信越支部
後援：富山県立大学

日 時： 2018 年 6 月 2 日（土）10:30～19:00

場 所： 富山県立大学（富山県射水市黒河 5180）
A会場：L 合同棟 L205 B会場：L 合同棟 L204

次 第：

研究発表会 (AおよびB会場 10:30～12:40)

総 会 (A会場 13:40～14:25)

支部賞授賞式 (A会場 14:25～14:40)

大 沼 賞：本吉 弘岐 氏

件名：長年にわたる観測および比較解析に基づく降雪粒子特性の研究

雪氷功労賞：和泉 薫 氏

件名：雪崩防災への学術的・社会的貢献及び学会・支部運営に果たした功績

研究発表会 (AおよびB会場 14:45～17:00)

研究技術交流会 (G 厚生棟 G111 食堂 17:10～19:00)
会費：一般 5000 円、学生 3000 円

研究発表会プログラム

(1 鈴：7 分，2 鈴：9 分，3 鈴：12 分)

発表会場には液晶プロジェクタ（Dsub-15pin 入力端子付）を用意します。発表用の PC は、各自でご用意下さい。

《A会場（L 合同棟 L205）》

I 雪崩 1 (10:30-11:25)

座長：秋山 一弥（土木研究所）

- 2017/18 冬期に土木研究所で観測した雪崩について
○原田裕介・石川 茂・上之和人・秋山一弥（土木研究所）
- 小蓮華山（長野県）における雪崩事故（2018 年 1 月 20 日）の調査報告
○出川あずさ（日本雪崩ネットワーク）
- 2018 年 2 月，3 月に福井県大野市の同一斜面で発生した 2 回の雪崩
○上石 勲・山口 悟・長峰 聡（防災科研・雪氷）
- 秋田県湯沢市泥湯温泉で 2018 年 2 月 13 日に発生した雪崩の調査（速報）
○竹内由香里・勝島隆史（森林総研十日町）・浅利一成（秋田森林管理署湯沢支署）・井良沢道也（岩手大）・落合博貴（(株) 森林テクニクス）

II 雪崩 2・利雪・克雪 (11:30-12:40)

座長：原田 裕介（土木研究所）

- 全層雪崩の連動的発生とグライド速度
○河島克久・松元高峰（新潟大災害研）・伊豫部 勉（京都大工学研究科）・渡部 俊（新潟大災害研）

6. 高精度空間情報による雪崩の発生規模の推定
○秋山一弥・石川泰裕（土木研究所）
7. 太平洋側地域に適用可能な雪崩発生危険度の評価方法
○吉川知里（新潟大理学部）・河島克久・松元高峰（新潟大災害研）
8. 日本最古の雪崩防止柵について
○和泉 薫（NPO なだれ防災技術フォーラム）
9. 「新潟の雪」と「雪の新潟」の謂れ
○和泉 薫（新潟大名譽教授）

III 気候・融雪・雪渓（14:45-16:00）

座長：河島 克久（新潟大災害研）

10. 乗鞍岳東斜面における雪面上の重力風
○上原元樹・佐々木明彦・鈴木啓助（信州大）
11. 熱収支モデルおよび積雪融解モデルを用いた山岳地域における積雪融解プロセスの再現
○西村基志（信州大）・佐々木明彦（国土館大）・鈴木啓助（信州大）
12. 融雪型火山泥流の流動性に与える雪の影響
○沖田竜馬（新潟大自然科学研究科）・河島克久・松元高峰・片岡香子・渡部 俊（新潟大災害研）
13. 白山千蛇ヶ池雪渓の夏季から秋季の縮小過程
○小川弘司（石川県白山自然保護センター）・藤原洋一（石川県立大）
14. 谷頭小流域において降雨および越年性雪渓の融雪水がもたらす溪流水の時空間的な水質変動
○清水啓紀・佐々木明彦・鈴木啓助（信州大）

IV 森林（16:05-16:55）

座長：竹内 由香里（森林総研十日町）

15. 風洞装置を用いたスギの湿雪着雪成長の室内実験
○勝島隆史（森林総研十日町）・安達 聖（防災科研・雪氷）・竹内由香里（森林総研十日町）
16. 雪崩斜面における樹木の倒伏過程と降積雪およびグライドとの関係
○松元高峰（新潟大災害研）・河島克久（新潟大災害研）・勝島隆史（森林総研十日町）・宮下彩奈（東京大日光植物園）・伊豫部 勉（京都大工学研究科）・渡部 俊（新潟大災害研）
17. 雪崩斜面における積雪期間中の樹木の変形モニタリング
○宮下彩奈（東京大日光植物園）・松元高峰・河島克久（新潟大災害研）・勝島隆史（森林総研十日町）

《B会場（L 合同棟 L204）》

V 降雪1（10:30-11:40）

座長：山下 克也（防災科研・雪氷）

18. 2018年1月11-12日新潟市に大雪をもたらした総観場・循環場の特徴
○本田明治（新潟大理学部）・春日 悟（新潟大自然科学研究科）・伊豫部 勉（京都大工学研究科）
19. 2018年冬季の北陸の大雪から集中豪雪について考える
○石坂雅昭（防災科研・客員）・本吉弘岐・中井専人（防災科研・雪氷）
20. 2018年1月から2月の大雪時の降水系
○中井専人・本吉弘岐・山下克也・山口 悟（防災科研・雪氷）
21. 2018年大雪時に観測された多重鼓様雪結晶について
多重鼓様雪結晶観測グループ（神田健三（中谷宇吉郎雪の科学館友の会）・藤野丈志（(株)興和）・本吉弘岐（防災科研・雪氷）・石坂雅昭（防災科研・客員））
22. 新雪粒子特性診断のための数値気象モデルを用いた新たなアプローチ
○橋本明弘（気象研）

VI 降雪2（11:45-12:40）

座長：中井 専人（防災科研・雪氷）

23. 新潟県で測定した南岸低気圧に伴う降雪時と冬型気圧配置時の降雪時の降雪種 —2018年1月22日から24日の事例—
 ○山下克也・中井専人・本吉弘岐（防災科研・雪氷）
24. 反射型固体降水観測器による降水種別判別の検討
 ○上林颯・熊倉俊郎（長岡技大）・山崎正喜・石丸民之永（新潟電機（株））・本吉弘岐・中井専人（防災科研・雪氷）
25. 降雪センサー情報を用いた詳細降雪・気象情報提供システムの開発
 ○山口 悟・山下克也（防災科研・雪氷）・齋藤隆幸（スノーテック新潟）・山崎正善（新潟電機（株））・神田英一朗（（株）KCS）
26. 降雪深増率計の開発 IV —2017～2018 積雪板式時間降雪深計との比較—
 ○石丸民之永・山崎正喜・羽賀秀樹（新潟電機（株））・熊倉俊郎（長岡技大）
- VII 凍土・積雪分布・吹雪・氷床・建築（14:45-15:55） 座長：山口 悟（防災科研・雪氷）**
27. 南部パタゴニア地域における岩石氷河の分布
 ○松元高峰（新潟大災害研）
28. 2009年から2014年までの中央アジア・アルタイ山脈域における積雪水量の変動特性
 ○杉浦幸之助・三國志成（富山大）
29. 低温風洞におけるスプラッシュ過程の測定
 ○新屋啓文（新潟大）・大宮 哲（寒地土研）・根本征樹（防災科研）・大風 翼（東工大）
30. 氷床コア深層掘削機の電装部の開発 —3500m ケーブル通信と試作—
 ○高田守昌（長岡技大）・本山秀明（極地研・総研大）
31. 屋根雪試験棟を用いた雪荷重による垂木の変形のモニタリング計測の試み
 ○本吉弘岐・伊藤陽一（防災科研・雪氷）・高田清太郎（（株）高田建築事務所）・神田英一朗（（株）KCS）
- VIII 雪氷化学・教育・普及・積雪の構造（16:00-17:00） 座長：高田 守昌（長岡技大）**
32. 立山・室堂平における積雪層中の化学成分濃度の特徴
 ○渡辺幸一・原田英幸・日比野桂佑・江尻遼介・市川夢子（富山県立大）・島田 亙・青木一真・川田邦夫（富山大）
33. 積雪層の中に含まれる化学成分の融点直下における下方移動
 ○大西悠也・島田 亙・朴木英治（富山大）
34. pH 指示薬による積雪層の pH 可視化
 ○藤野丈志（（株）興和）・對馬勝年（富山大名誉教授）
35. 積雪中への水分浸透における水みちから毛管流卓越への遷移過程 —モデルを用いた数値実験—
 ○平島寛行（防災科研・雪氷）・Francesco Avanzi（カリフォルニア大学バークレー校）・Nander Wever（コロラド大学ボルダー校）